

「戦略の現場化」・「現場の戦略化」

私たちは、戦略は組織の末端まで浸透させることによってこそ、実効を上げることができると考え、常に「戦略の現場化」を重視しています。

そのための方策として、職制を通じたコミュニケーションに加え、それを補完するための数多くのコミュニケーションの機会を設けています。

その一環として、社長がイントラネット上で全社員に語る「社長チャンネル」、社長とのダイレクトコミュニケーションを図るための「社長・部長スモールミーティング」、社長・チームリーダー懇談会」などを実施しています。

これらによって現場の第一線を担う従業員がマネジメントの考えをよりダイレクトに知ることができるだけでなく、マネジメントが従業員の思い、現場の状況を直接感じる機会を増やすことができます。そして拾い上げた現場の声を戦略に反映する「現場の戦略化」にも役立っています。

こうした取り組みは、当社のコアコンピタンスである「総合力」を発揮する上で不可欠なチームワークの醸成にも大きく貢献しています。



事業部門総括部長会